

# きゅうしゅう

NO.70



飯塚駐屯地「二十歳の祝い」での集合写真（提供：陸上自衛隊飯塚駐屯地）

## 目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介：陸上自衛隊飯塚駐屯地
- 2. 自治体紹介：福岡県飯塚市  
福岡県鞍手郡小竹町
- 3. 業務紹介：総務部会計課
- 4. インフォメーション：日米交流事業ほか



防衛省と地域社会との協力を  
象徴するエンブレム

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7

福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811



飯塚駐屯地イラスト（第3高射特科群隊員制作）

# 1. 部隊紹介

# 陸上自衛隊飯塚駐屯地



第2高射特科団長  
兼ねて飯塚駐屯地司令

陸将補 田中 裕宣

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。  
第2高射特科団長兼ねて飯塚駐屯地司令の田中将補です。

飯塚駐屯地は、かつて近代日本の発展を支えた有数の産炭地である福岡県筑豊地区の飯塚市及び小竹町にまたがって所在しており、外周約13km・総面積約145万㎡と九州で最も広い駐屯地であります。駐屯地内の訓練場のほか、近傍の西山訓練場（宮若市）を管理しており、訓練環境にも恵まれた駐屯地です。

また、国の防衛力整備と産炭地域振興政策、そして筑豊地区の皆様のご熱心な誘致により創設された駐屯地であり、創設以来「地域とともに」をスローガンとして、地域の皆様とは良好な関係を築いてまいりました。

近年の我が国周辺の安全保障環境が極めて厳しい状況の中、そして異常気象等がもたらす災害等がたびたび発生している状態であることから、これまで以上に地域の皆様や関係機関等と連携を図りつつ有事に備え、訓練演習等に励みその実力を磨いていく所存です。

これからも地域・国民の皆様から信頼される駐屯地・部隊であり続けるよう期待にこたえてまいります。引き続き陸上自衛隊飯塚駐屯地へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 駐屯地沿革

- 昭和38年 政府として、貝島炭鉱の坑道充填用山砂を取得していた庄司採砂場に新たな駐屯地を開設することを決定
- 昭和41年 小郡駐屯地から第2施設群が移駐などして、飯塚駐屯地を開設
- 昭和45年 第116特科大隊が東千歳駐屯地から移駐
- 昭和46年 第116特科大隊を母隊として、第3高射特科群を新編
- 昭和48年 第2高射団を新編
- 昭和51年 第2高射団から第2高射特科団に称号変更
- 平成22年 西部方面無人偵察機隊が新編
- 令和7年 西部方面無人偵察機隊が廃止



開設当時の駐屯地

部隊移駐の状況

## 駐屯地所在部隊



### 災害担当隊区

#### 第3高射特科群



#### 第2施設群



#### 第102高射直接支援大隊



### 駐屯地活動状況

訓練・演習



中SAM部隊実射訓練検閲 (第3高射特科群)



教育訓練基盤構築 (第2施設群)



武装走競技会 (第102高射直接支援大隊)



対空実射訓練目標機支援 (第304無線誘導機隊)

災害派遣等



九州北部豪雨に係る災害派遣



令和2年7月豪雨に係る災害派遣



福岡県総合防災訓練



飯塚市総合防災訓練

駐屯地・部外行事支援等



駐屯地創立記念行事



駐屯地夏祭り



市民との音楽の夕べ



飯塚国際車いすテニス大会支援



田川市「川渡り神幸祭」



福津市「防災フェス」



古賀市「まつり古賀」



飯塚市「自衛隊ふれあいフェス」

#### お問い合わせ先

#### 陸上自衛隊 飯塚駐屯地広報室

〒820-0064 飯塚市津島282 ☎0948-22-7651  
Mail: 2aab-s3opns-wa@inet.gsdf.mod.go.jp

飯塚駐屯地

検索



飯塚駐屯地HP



@JGSDF\_IIZUKA

X (旧Twitter)



JGSDF\_IIZUKA

Instagram

フォローよろしく  
お願いします!!



## 2. 自治体紹介

### 福岡県飯塚市



飯塚市長  
武井 政一

### 市長あいさつ

飯塚市は、福岡県のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境と歴史・文化に育まれた筑豊地域の中核都市として、県内4番目の人口を有するまちです。

本市には、弥生時代・古墳時代の遺跡・古墳が点在し、江戸時代は別名「シュガーロード」と呼ばれる長崎街道の宿場町として、また明治以降は全国一の出炭量を誇り日本の近代化を支えた筑豊炭田の商業・文化の中心地として繁栄しました。そのため、嘉穂劇場や旧伊藤伝右衛門邸などの貴重な近代遺産、甘いお菓子やおいしい食事など豊かな食文化に恵まれました。

また、市内の3つの大学と連携した教育や人材育成、医療機関やスポーツ施設の充実を強みとして、「人が輝き、まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち」を都市目標像に、にぎわいと魅力あふれるまちづくりを進めています。

ぜひ、飯塚市にお越しください。

### 自衛隊との関わり

本市にある飯塚駐屯地は九州最大の敷地面積を誇り、第2高射特科団本部、第3高射特科群、第2施設群などが所在しています。隊員のみなさまには災害派遣出動のほか、本市主催の「総合防災訓練」、本市職員の「凶上訓練(風水害・地震)」において、ご指導、ご支援をいただき、本市で開催される天皇杯・皇后杯飯塚国際車いすテニス大会「Japan Open」など様々なイベントにおいても、運営補助のご協力をいただいています。

また、本市の業務において自衛隊で培われた経験を活かしていただくため、退官された方々を採用しており、その豊富な知識・技術力を発揮して、ご活躍いただいています。

ふるさと納税  
募集中

返礼品から飯塚市の魅力を感じてみませんか？



●鉄板焼ハンバーグデミソース



●きれいなコーヒードリップバッグ



●銀座山形屋メンズオーダー仕立券



ふるさと納税  
特設サイト



ふるさと  
チョイス



楽天  
ふるさと納税



ふるなび



さとふる

## 2. 自治体紹介

### 福岡県鞍手郡小竹町

「住みたい！育てたい！訪ねたい！  
あなたが主役 幸せ実感 小竹町」



小竹町長 井上 頼子

### 町長あいさつ

小竹町は福岡県の中央部、鞍手郡の南東部に位置し、北から東は直方市、西は宮若市、南は飯塚市と3市に接しています。東部、西部に小丘陵があるほかは概ね平坦で、町の中央部には一級河川「遠賀川」が北流しています。長崎街道を擁し、交通の要衝の地として栄え、遠賀川沿いには小さな竹藪が生い茂り「小竹の処」として呼ばれていたことが町名の由来となっています。

町内にはブルーベリー農園の山の里自然農園やミッションバレーゴルフクラブなどの観光スポットを有するとともに「こたけポタカン駅伝」、「こたけ町民まつり」など春夏秋冬で様々なイベントを行っています。

豊かな自然に囲まれた文化と歴史のまち、様々な町内イベントの魅力にふれることができる小竹町に、ぜひお越しください。

### 自衛隊とのかかわり

陸上自衛隊飯塚駐屯地の演習場が町の西部に位置し、官舎も所在しています。所属する隊員の方々は、環境美化運動や町内のイベントなどに積極的に参加され、町民との交流を深めています。また、町で組織している「小竹自衛隊協力会」との連携を図っており、お互いに協力しながら町民の防衛に関する理解の促進、意識の高揚に努めています。



### 町内のイベントやふるさと納税



①こたけポタカン駅伝

山あり谷ありのポタ山の跡地(山の里自然農園)で毎年5月に開催されています。起伏のあるコースを4時間かけてチームで走り繋げ、周回数を競います。子どもから大人まで幅広い年代の人たちが参加し、達成感を共有できます。



②こたけ町民まつり

毎年11月に小竹町中央公民館周辺で盛大に開催しているこたけ町民まつり。生涯学習等の成果発表のステージやバザー、展示など盛りだくさんの催しがあり、小竹の力を結集して取り組む一大イベントです。



③南良津獅子舞

宝暦2年(1752年)に8年続いた豊作を祝って獅子舞を「秋のおくんち」に奉納したのがはじまりとされています。毎年稲刈りが終わる10月の時期に、家内安全・五穀豊穡などの願いを込めて受け継がれてきた南良津区に伝わる獅子舞。笛、太鼓の楽にあわせて、前衆、古衆、道衆、出端の型があり、雄獅子と雌獅子が笛や太鼓のリズムに合わせて勇壮活発に舞を繰り広げます。



④小竹祇園山笠

五色の幕や提灯、飾りをほどとした山笠は、疫病退散や怨霊沈静を願う、小竹貴船神社に伝わる奉納行事です。約200年以上にわたり伝承し、毎年7月に開催され、地域住民で守り続けています。和太鼓の音とともに駆け巡る山笠は、高さ約4メートル、幅約2メートルあります。大きく上下に揺らす「がぶり」や、車輪を軸に回転させる「引廻し」が見せ場です。

### 小竹町の特産品 (ふるさと納税返礼品)



▲小さな竹美人(コモリアーム)



◀チーズケーキと  
ガトーショコラ  
(Patisserie 和み)

けたこのくす  
あいずキャンディー  
(小竹町商工会)



★天空貫  
(ミッションバレーゴルフクラブ)



ふるさと納税サイトはこちら

## 3. 業務紹介

### 総務部 会計課

会計課の主な業務は、九州防衛局の職員たちの仕事がスムーズに運ぶようバックアップすることです。決して目立つ存在ではありませんが、九州防衛局を下支えする役目を担っています。業務は幅広く、いわゆる縁の下の力持ち的存在です。しかし、そのすべてが国の予算と法律に基づいているものであるため、些細なことでもおろそかにはできません。例えば、ボールペン1本の購入に際しても、それが国のものであるという意識が必要です。九州防衛局を支えるスタッフとして常に全体に目配りするという視点が欠かせません。幅広い仕事をこなしながらも、一つひとつについて精通していることが必要とされています。

#### 主な業務内容

- 経費の予算及び決算に関すること
- 会計機関（支出負担行為担当官など）の事務担当職員の任免
- 物品の管理に関すること
- 庁舎及び職員の宿舎の供される行政財産等の管理
- 職員に貸与する宿舎に関すること
- 資金前渡に関すること
- 職員の給与、旅費及び退職手当の支給
- 庁費類に係る契約の締結
- 経費の支払いに関すること
- 歳入歳出外現金の保管
- 債権の管理に関すること
- 経費の支出負担行為に関する審査



#### その他特殊な業務

会計課では、在日米軍等が九州防衛局管内の演習場などにおいて、沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施、米軍再編に係る航空機訓練移転並びに回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転などを実施する際の現地対策本部の設営などを実施しています。

#### 104移転訓練

- 管理棟及び管理施設の整備をはじめ、レンタカーの借上、光熱水料などの物品及び役務の調達並びに職員の宿泊場所などの確保を主に担当



- 移転訓練が実施される約1週間前には現地対策本部が開設されるため、それまでに開設準備を完了

- また、移転訓練が終了した後、整備した管理棟などを速やかに撤収

移転訓練が実施される間、また、その準備、撤収期間を含め、九州防衛局の職員がその職責を果たすために必要となる後方支援を確実に実施することで、地元対応や円滑な訓練移転の実施に寄与しています。

## 4. インフォメーション

### 新幹部紹介



局次長 池田 学 (いけだ まなぶ)

4月1日付けで九州防衛局次長を拝命しました池田です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでの九州防衛局での勤務経験を踏まえ、自治体の皆様及び地域の皆様との出会いに感謝し、その信頼関係をさらに発展させていきたいと思っています。

現場にも足を運び、初心に戻って、それぞれにとって良い方向に進めることができるよう努力していきたいと思っています。



防衛補佐官 柳原 秀親 (やなぎはら ひでちか)

3月17日付けで防衛補佐官を拝命しました柳原です。九州での勤務は西部方面総監部(健軍駐屯地)以来9年ぶりの3回目であり、防衛局勤務は初めてとなります。

自衛官として部隊運用の見地から局長を確実に補佐するとともに、局の各種業務に積極的に参画して、地域の皆様、在日米軍の皆様、局職員を含む防衛省・自衛隊の皆様の架け橋となれる様に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 日出生台演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について

令和7年2月27日～3月7日の間、陸上自衛隊日出生台演習場において、沖縄県に駐留する米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練が実施されました。

本訓練は、米海兵隊が沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて、県道104号線を通行止めにして155ミリリゅう弾砲の実弾射撃訓練を行っていたものですが、平成8年12月の沖縄に関する特別行動委員会(SACO)最終報告により、平成9年度から米軍施設・区域が集中している沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場(矢白別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場)において分散・実施しているもので、日出生台演習場での訓練は今回で16回目となります。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は2月17日～3月15日の間、九州防衛局現地対策本部を同演習場内に開設し、関係自治体等に対する訓練の情報等の提供、演習場周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための支援を行いました。



3年連続開催  
 今年は西海市でも  
 大盛況!

U.S.-Japan Friendship Concert  
**日米交流演奏会2025**  
 ~Hand in Hand with Harmony~

【佐世保公演】

令和7年3月20日(木) 15:00~18:00  
 アルカスSASEBO(長崎県佐世保市)

【西海公演】

令和7年3月22日(土) 13:30~16:00  
 大島文化ホール(長崎県西海市)

令和7年3月、佐世保市及び西海市において、九州防衛局主催による「日米交流演奏会2025 ~Hand in Hand with Harmony~」を開催しました。それぞれの市民や米軍基地周辺の方々などが来場され、佐世保公演では約1,100人、西海公演では約500人に参加頂きました。

この演奏会は、米海軍佐世保基地の軍人・軍属及びその家族と同基地周辺住民との交流を通じ、相互理解の促進及び良好な日米関係の醸成を図ることを目的としており、昨年度に引き続き通算6回目の開催となります。今年度は音楽演奏会として初めて、西海市においても実施しました。



会場の様子(佐世保公演)



九州文化学園高等学校によるマーチング



日米合同演奏・合唱



日米合同合唱



さいかいウインドオーケストラ



米海軍第7艦隊音楽隊

今年度は、日本側から九州文化学園高等学校、さいかいジュニア合唱団及び佐世保市・西海市内の中学生有志で結成された「佐世保・西海ジュニアオールスターズ」、米側から米海軍佐世保基地内に所在するE. J. キングミドル/ハイスクールが参加しました。

また、ゲストとして、さいかいウインドオーケストラと昨年度に引き続き米海軍第7艦隊音楽隊が出演し、演奏会を盛り上げました。

佐世保公演前日に実施したりハーサル(合同練習)と交流会では、参加者同士の交流が活発に行われ、お互いに会話や写真撮影などを楽しみました。リハーサルの間の演奏指導では、第7艦隊音楽隊から日米中高生に対し、技術的な手法などを熱心に指導する場面も見受けられました。

佐世保市及び西海市の両公演において、子供たちはそれぞれが練習の成果を発揮し、会場には素敵なハーモニーが響き渡りました。



交流会の様子



演奏指導を受ける中高生

参加生徒の声 『普段ない体験ができてとても嬉しかったです!』

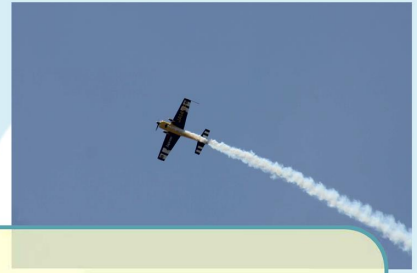
来場者の声 『とてもすばしかったです。子供たちにとっても、日米友好の機会になればと思いました。』



九州防衛局では、今回の演奏会をきっかけとして新たな交流が生まれていくことを願うとともに、今後も多くの方々にお楽しみいただけるような日米交流事業の実施に取り組んでまいります。

【九州防衛局公式Xでは当局の取り組みを発信しています! ➡】  
 防衛省 九州防衛局 (@kyushuRDB\_koho)





## 【広報活動】 エアーメモリアル in かのや 2025



4月27日(日)、海上自衛隊鹿屋航空基地(鹿児島県鹿屋市)においてエアーメモリアルinかのや2025(エアメモ)が開催され、約1万3千人の航空機ファンや家族連れが訪れ、鹿屋基地は大いに賑わいました。

エアメモでは、海上自衛隊のP-1(固定翼哨戒機)、SH-60K(哨戒ヘリコプター)の訓練展示や陸上自衛隊のV-22オスプレイ、米海軍航空機のP-8(哨戒機)や米海兵隊航空機CH-53E(輸送機)など、多くの装備品展示もあり、来場者は写真撮影したり、機体の中を観察するなど興味深々な様子でした。

このような企画の中、我々、九州防衛局もブースを設置して、防衛白書パネルでのクイズや地方防衛局の業務紹介などの広報活動を行い、多くの方に興味を持っていただけたと感じております。

九州防衛局は、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々にご理解頂けるよう分かりやすい広報に努めてまいります。

自衛隊の各種イベントにて皆様のお立ち寄りをお待ちしています!!



## 佐賀県防衛協会女性部会防衛講演会

令和7年4月23日(水)、佐賀県川上峡温泉ホテル「龍登園」(佐賀県佐賀市)において、佐賀県防衛協会女性部会防衛講演会で中辻綾太企画部長が防衛講話を行いました。

防衛協会は、国民の防衛意識の高揚を図り、防衛基盤の育成強化に寄与するとともに、自衛隊を支援・協力することを目的とし活動を続けていただいております。

今回の講話では、「佐賀空港へのオスプレイ配備計画の今後について」と題し、陸自オスプレイ(V-22)の必要性、部隊配備の規模、空港利用の態様などについて、中辻部長がこれまで培ってきた経験や知識などを織り交ぜながら、わかりやすく説明いたしました。

会場に来られた約100名の参加者からは、佐賀駐屯地(仮称)の開設や駐屯地の安全な運用などについて質問があり、防衛政策に対する関心の高さが伺え、熱心に聞き入られていました。

最後には、代表者から防衛省・自衛隊に対する期待や感謝のお言葉をいただきました。



講話する中辻企画部長



会場の様子

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話：(092) 483-8832 (自動音声による案内)

平日は17時15分から翌朝8時30分まで  
休日は終日